第 6 回玉造病院地域医療連絡協議会議事

日時 : 平成 30 年 3 月 8 日 (木) 17 時 00 分～17 時 55 分
場所 : JCHO 玉造病院 第一会議室

病院側委員 : 池田院長、芦沢副院長、川合統括診療部長、坪内看護部長、
杉野事務部長

外部委員 : 松江医師会清水理事(会長代理)、松江市健康子育て部小塚部長、
松江保健所村下所長、玉湯町自治会連合会勝部会長
※欠席 : 松江赤十字病院秦院長

○院長挨拶

「お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。日頃より当院の運営にご協力
いただき感謝します。」

「当協議会は今回で 6 回目となります。昨年度より年 2 回の開催となっており、委員
の皆様にはご負担をおかけしておりますが、本協議会を通じて皆様方からご意見をいた
だき、地域にたいして当院として何ができるかを考えていきたいと思っておりますので、
ご協力の程よろしく願いいたします。」

また、今まで当院の医師について紹介をしておりませんでしたので、今回は医師の紹
介と診療業務以外の取組みについて（別紙にて）ご報告いたします。

では、引き続き、当院の 30 年度の運営方針と 29 年度の運営状況をご報告させて頂
きますので、委員の皆様より忌憚の無いご意見ご提案を頂き今後の病院運営の参考とさせ
て頂きたいと思えます。最後までよろしく願いします。」

○外部委員および病院側委員の紹介

※外部委員 : 杉野部長より紹介。

松江赤十字病院秦院長 欠席。

※内部委員 : 順番に自己紹介。（川合統括診療部長は手術中のため途中出席）

○議事

※議事進行は池田院長。

議事①「平成 30 年度事業運営方針及び平成 29 年度事業運営状況」について
杉野部長より（別紙）にて説明。

(質疑応答)

- 池田院長： 事業運営方針及び運営状況損益等を説明したが、ご意見ご質問は。
- 村下委員： 医師数減の中でも手術件数が増えていること、地域包括病棟や回復期リハ病棟の充実を図られていることは、所管の保健所として心強い。
今後の訪問看護について聞きたい。
- 杉野部長： 内科医の人数と高齢化が問題、内科医の拡充を含めて検討をしている。
- 村下委員： 地域包括ケアを推進する上でも内科医の確保は重要であるのは理解している。保健所としても可能な支援はする。
- 坪内看護部長： 前回の協議会の後、希望者が有り訪問看護を行った実績がある。今後も称者については前向きに対処するが、やはり医師の確保は重要である。
- 芦沢副院長： 医師の確保については、島根大学及び当 JCHO 本部に働きかけているが、難しいものがある。地域包括ケアについては開業医や総合病院との連携を進めている。また、地域開業医への外来患者紹介を進め病診連携の強化を図っている。
- 清水委員： 医師会としても病診連携は重要と考える。密な連携の為に一定数の医師確保は必要であり、医師会としても協力する。
- 池田院長： 開業されている医師のご子息はどうか。
- 清水委員： 若い医師は地元に戻って来ない。開業医も高齢化が進んでおり、在宅医療等への対応が難しい医院もある。
- 芦沢副院長： 当院の内科では、若い医師へのメリットとして、プライマリ・ケア認定資格取得について全面的な支援の用意がある。また、総合病院では日々の業務に追われてしまうが、当院では1症例について比較的多くの時間をかけて学ぶことが出来る。
- 池田院長： 当院は整形外科のイメージが強いが、内科として資格取得の支援があるので、ぜひ利用してほしい。
- 村下委員： 益田地区でも若い医師がプライマリ・ケアを学ぶ事例があった。玉造病院では内科の他に整形外科、リハビリについても学べるという利点がある。島根大学での講義の際には情報提供させていただく。
- 清水委員： 最終的にはリハビリ的な部分が重要になる。若い医師にはそこをアピールするようなアプローチも必要。

議事② 公的医療機関等 2025 プランについて

杉野部長より（別紙）にて説明。

(質疑応答)

- 池田院長： 公的医療機関等 2025 プランについて説明しましたが、本年4月より48床を返還し、許可病床253床にて病棟運用を開始する。また、整形外科の医師

が昨年に続き本年も当院に勤務する。その他 2025 プランについて、ご意見ご質問は。

小塚委員： 診療報酬外の話になるが、在宅のQOLを考えた上で、現在、一般介護予防への取組みを検討している、玉造病院はリハビリが充実している、ぜひ協力をお願いしたい。

池田院長： 具体的にはどういうことか。

小塚委員： 地域住民を集めての講演や指導を考えている。

池田院長： 当院では既に出張講演という形で行っているが。

小塚委員： 同様の形を市の主催で考えている。

勝部委員： 昨年は公民会の文化祭に職員派遣等のご協力いただき感謝します。今年もご協力をお願いしたい。

また、地域防災の観点から、災害時には病院附属の健康増進ホームを、一時避難所として利用できるようお願いしたい。

杉野部長： 地域貢献という観点からも、施設長判断で問題は無いと思うので、前向きに検討する。

村下委員： 2025 プランについて、医療計画を所管している保健所として、今後の地域医療を考えたいので、玉造病院が病床を返還されたことに感謝する。

玉造病院の整形外科は地域のみならず近隣他県もカバーしている。今後も維持を図っていただきたい。

清水委員： 医師数減の中、手術件数を上げている、大変な努力があったかと思う。今後も維持・充実が続くよう期待する。

小塚委員： 地域包括ケアを推進する上で、玉造病院の存在は大きいと考える。市として医療介護連携センターを設立し、市内各施設の機能連携を進めている。玉造病院の地域連携室とも密な連携強化をお願いしたい。

池田院長： 本日は、委員の方から多くのご意見頂けたことに感謝する。

(17 : 55 終了)